

大中の伝統！「無言」発育測定

大形中の発育測定では、「無言」が伝統になっています。身長・体重の測定から、視力・聴力の検査まで多くの項目があり、全校生徒が順に会場を回って測定を行います。427名の生徒がいかにかスムーズに行動できるか、集団の力が問われる大きな場面です。

昨日、今年度の発育測定が行われました。養護教諭の長谷川先生が全校に向けて説明をしているときから、全校生徒は真剣に話を聴き、この「無言」が徹底されていました。また、説明後の測定も大変スムーズで、予定時間に余裕をもって終了することができました。

大切なことは、「無言」を指示されたから行うのではなく、なぜ「無言」が必要なのか、その理由を自分で考え、理解して行動に移すことです。計測や記録をしてもらう方に迷惑をかけないだけでなく、感謝の気持ちをもって臨むときの姿が「無言」です。そういった意味で、全校生徒が「相手意識」をもって取り組むことができ、大中学生の底力を感じることのできた場面でした。



(左) 発育測定のねらいと目標を生徒に語ります！
(上) 長谷川先生の話を真剣に聴く生徒たち。
測定では、地域の方からボランティアでお手伝いいただきました。感謝です！

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年4月12日

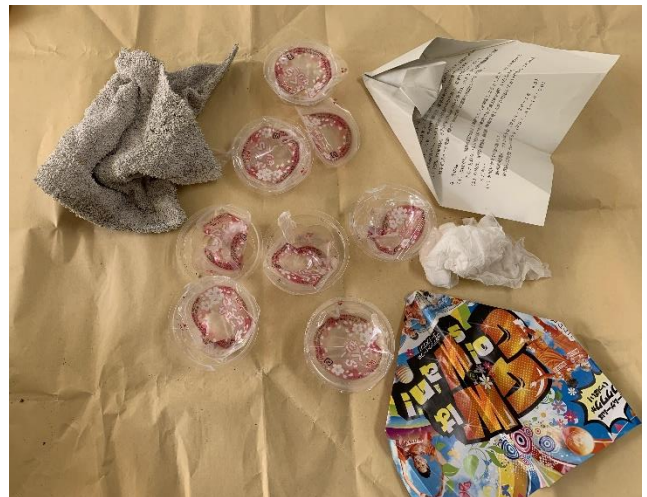
第2号

一方で、とても残念な状況も… これでいいのか、大中生！

素晴らしい姿が見られた同日、とても大変残念なことがありました。右の写真が何かわかりますか？昨日の放課後、学校の裏で見られた状況です。給食で出されたデザートの容器が5つ、帰りの会で配られたプリントで作られた紙飛行機が2つ、学校開放玄関付近に散乱していたのです。

これ以外の場所でもデザートの容器や雑巾などが投げ散らかしてある状況が複数箇所で見られました。

生徒の皆さんは、大形中でこのような状況が見られたことをどのように受け止め、何を考えますか。関係した生徒が誰で、何人いるかはわかりません。もちろん、行為を行った人は深く反省し、二度と繰り返さないことを心に誓わなければなりません。関係した生徒からの勇気ある申し出を校長室で待ちたいと思います。



それでも、見つかったものの全部ではない！
「目指す姿」とはほど遠い現状が、目の前にある！

しかし、この状況を知った全校生徒がこの状況を「自分事」として受け止めることができるかどうか、こちらの方が重要だと考えています。自分や自分たちの問題としてとらえなければ、単に他人事でしかありません。そして、その姿勢のもとでは集団の成長はありません。

学校づくりの主体者である大中生の皆さんに課した春休みの課題をもう一度思い出してください。そして、その答えを改めて自分で考えてください。「目指す姿」を見だし、その達成に向けて行動を起こすことのできる大中生であることを信じています。

春休みの
課題

大中生全員にとって価値のある「目指す学校像」とは、どのようなものか？
大中生として「目指す姿」は、どのような姿なのか？